

中国の祝日と勉強について

高橋あすみ

みなさんこんにちは！高橋あすみです。中国に来て二ヶ月があつという間に過ぎ去り、時の流れの速さに驚きを隠せません。太原は中国の中でも北部に位置する都市で、正式な立冬は11月7日であるにも関わらず、秋を通り越し早くも冬の到来を感じています。10月中旬時点で既に最低気温がマイナスを記録する日々が続き、真冬には例年-20度前後が観測されるほどまで更に気温は下がりが続けるため、太原での生活は入念な防寒対策が必須となるようです。

さて、今回はそんな10月第一週に初めて体験した中国の連休とその文化、また大学での勉強面について詳しくご紹介します。

10月1日から8日まで、授業が始まって以来初の中国の連休を経験しました。この連休は通常「十一黄金周」と呼ばれ、その名の通り日本のゴールデンウィークのような位置付けにあります。祝日が短期間に何日も設定されていたり、9月に前学期が始まりその一ヶ月後にある一週間程度の休暇だったりと、確かに日本のゴールデンウィークとの共通点多々見られます。中国では、国慶節と中秋節という2種類の祝日が近い日付にあるため、毎年この時期に当たる10月第一週を黄金周として連休が定められているようです。

国慶節は10月1日で、中国の建国記念日にあたります。中秋節は旧暦の8月15日にあたり、一年の中で最も明るく美しいと言われる満月を祝う唐の時代から続く伝統行事です。日本のお月見にあたる文化と考えると理解しやすいでしょうか。この日は遠くに住んでいる家族も実家に帰省し、家族団欒を楽しむという文化があります。実際に連休開始と同時にキャンパス内には多数のキャリアケースを持った中国人学生の姿が見られました。また、満月に見立てた月餅という菓子を食べる文化もあり、私も連休の際友人からいただきました。

連休が終わるとすぐ授業が再開しました。今回は紹介しきれなかった勉強面の詳細についてお伝えします。

授業は初級クラスと中級クラスがあり、それぞれ総合、閲読、口語、聴力の四科目から構成されています。授業開始直後は語彙不足や話す速度についていけないなどの原因でなかなか理解できなかった先生の話も、二ヶ月目には一つ一つの音を聞き逃さないよう傾聴したり、発音から漢字を推測したりすることで、ほとんど理解できるようになり、自分のリスニング力の進歩を感じています。

勉強面で特に日本人が苦勞すると感じるのは、他の国の学生達と共に授業に参加する際、他の学生とは中国語学習において躓く^{つまづ}点が異なるということです。

日本人は一目中国語を見たら、大方の意味は推測できる。このように考える方は多いのではないのでしょうか。実際のところ、日本語も漢字を用いるため中国の漢字(繁体字)と微妙な差異はありながらも、漢字だけを見れば長い文章でも意味を予測することができます。しかし、他の国の学生は漢字を書いたり、私たちが部首などから予測できる漢字自体のもつ意味を予測するのに苦勞したり、読み書きがとくに課題になりやすいのではないかと思います。

一方で、他の国の学生達は母語に同様の区別が存在するなどの理由で n と ng、z と j の発音の聞き分け、またはスピーキングでの同部分の区別が困難でない学生が多数見られます。この部分は日本語で詳細に区別されない発音であるため、日本人の私にとっては特別難しいと感じる点であり、練習問題や小テストなどで何度も間違えてしまう課題点です。また、出身国によっては中国語と同じように声調があるため多数の学生が躓く^{つまづ}声調の区別をいとも簡単に正しく発音し覚えられる学生も見られます。

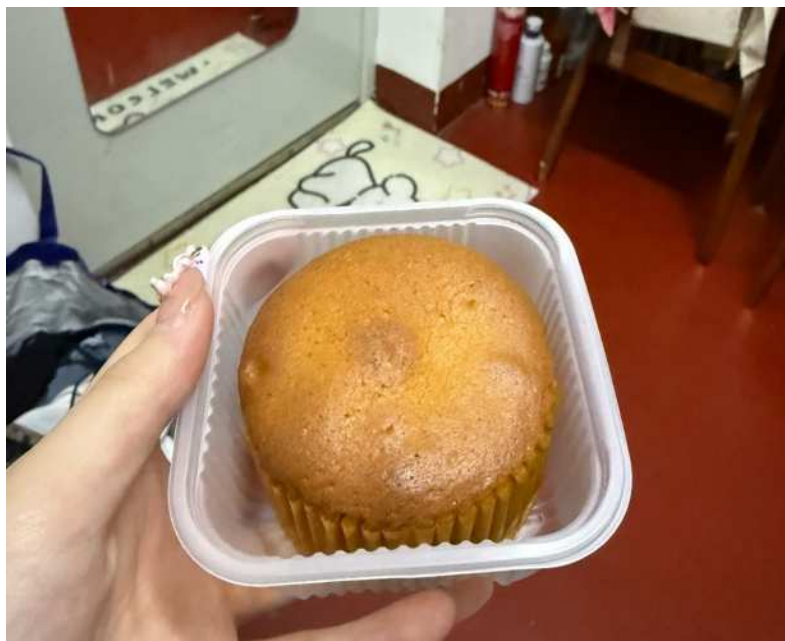
このように、同じクラスで同じ授業を受けていても出身国によって得意な部分、不得意な部分が比較的はつきりと見て取れるのですが、日常的に漢字を扱うことに慣れ、読み書きが最初から得意な学生は日本人だけなので、たった1人の日本人はクラスの中でも異質な存在なように感じられます。練習問題の解説などでも漢字の書き方に焦点があたる場合も多いので、授業で理解を深めきれなかった部分は個別に先生に質問したり、授業後自ら反復学習し身につけることも重要だと感じています。また、私が苦手と感じるスピーキングに関しては普段から中国語で友人や先生方とコミュニケーションをとり能力の向上に努めていますが、やはり読み書きに比べてスピーキング、リスニングの壁は高く感じられるのが二ヶ月目の現状です。

さて、今回は中国の連休と学習面に関する詳細についてお伝えしました。上記の通りまだまだ困難も感じる留學生活ですが、残りの留學期間も文化や語学の学習に尽力し、有意義なものにしたいと思います。

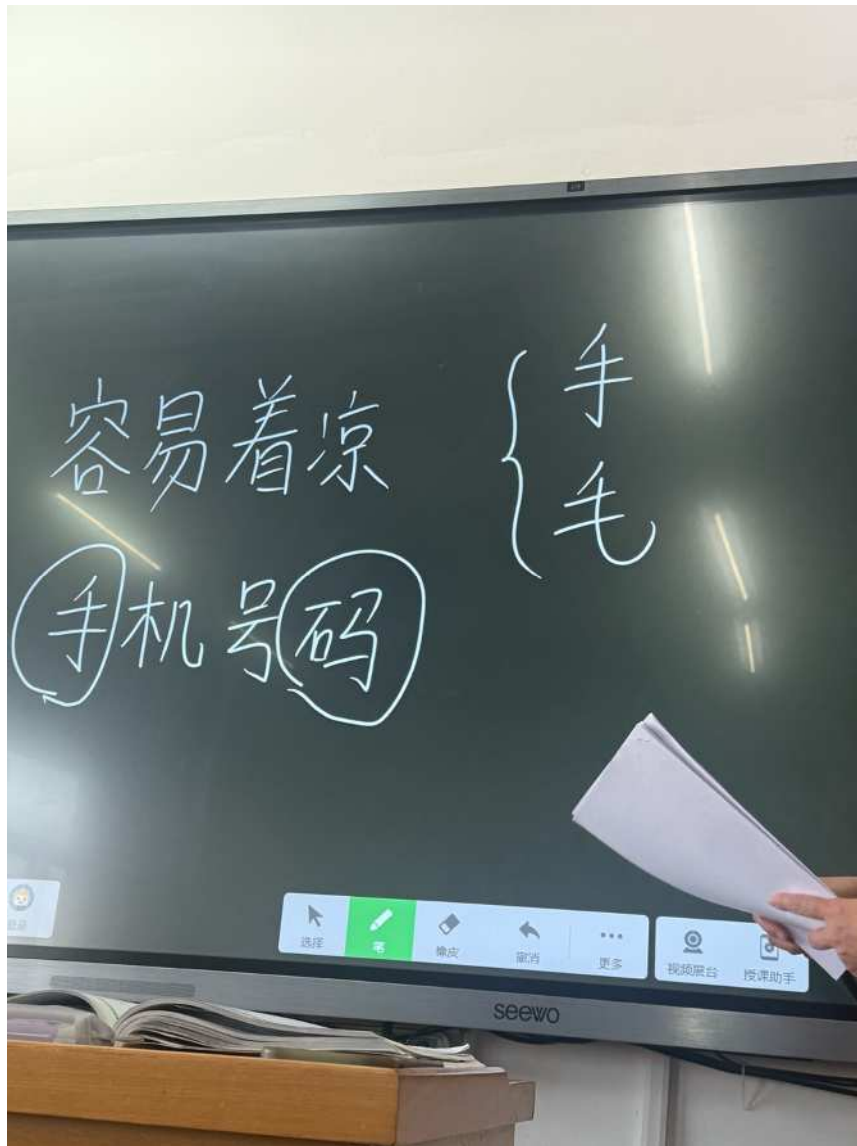
ここまでお読みいただきありがとうございました。それではまた来月のレポートでお会いしましょう！



ある日の太原の天気。ここからさらに20度も下がることは想像できません。5つ目の季節があるような感覚です。



中秋節の月餅。模様が入った伝統的な月餅も存在します。地域によって変わりますが、中にはナッツや小豆などが入っています。



初級の授業の一部です。姿形が似ている漢字の解説が頻繁に行われます。漢字の成り立ちなどから説明していただけるので改めて勉強になります。